令和６年度

所沢市立伸栄小学校

農業体験

第３~６学年

特　色

- 本校では、ESD（持続可能な開発のための教育）を推進し、ESDに関わる様々な取組を全校で行っている。その一環として、３～６年生と特別支援学級の児童が、校地内の学校農園を活用して、農業体験と栄養教諭による食育を組み合わせた食農教育に力を入れている。耕運作業や植付け、収穫などの活動時には、学校応援団の農園ボランティアさんの力を借り、年間２回の大きな収穫は児童の目を輝かせる貴重な体験となっている。

児童の感　想

- ESD 委員会では、収穫した大根５０kgを給食センターに届けて、給食に出してもらいました。みんなにおいしいと言ってもらえて、とてもうれしかったです。また使ってもらいたいです。
- お母さんが「値段が高いから野菜をもらえると助かるし、野菜の好き嫌いも減って、良い活動しているね。」とほめてくれました。

成　果

- 農業体験を通した貴重な体験はもちろんのこと、ESD の合言葉「E いいねー！S すごいねー！D（みんなでやれば）できるねー！」も定着し、本校の児童や保護者・地域にとって「いつまでもかけがえのない大切な学校であり続けるために自分たちにできること」を考え取り組むなど、主体性も育むことができている。